

【令和7年度 政策・調整会議】

件 名：川崎市みどりの将来像（案）の策定について

日 時：令和7年11月4日（火） 9：40～9：55

場 所：本庁舎7階特別会議室

●付議理由

市制100周年を迎えた川崎市が、100年先の未来への誓いとして、持続可能なよりよい社会の実現を目指す川崎市で、ともに暮らし、働き、学ぶすべての人とともに、つながりの輪をさらに広げ、新たなステージへと歩みを進めていくことを宣言した「みどりのKAWASAKI宣言」の実現に向けて、ネイチャーポジティブ（自然再興）やサーキュラーエコノミー（循環経済）などの地球環境に関する世界的な潮流、気候変動などの社会環境の変化等に対して、これまで以上に高い意識を持って、目標とすべき「みどりの将来像」を策定し、総合計画や各関連計画と整合を図りながら、取組を一体的に推進するため。

●付議概要

01 みどりの将来像

・基本的な考え方

宣言の実現に向けては、「緑のつながり」「人のつながり」「みどりを活かしたまちづくり」これらの柱を成長させていくことが必要になる

・みどりの将来像

「緑のつながり」「人のつながり」「みどりを活かしたまちづくり」からみんなで好循環を生み出し、自然と都市が成長し続ける川崎を目指す

・コンセプトワード：KAWASAKI NATURE LOOP～みどりで、つなげる。みんなが、つながる。～

02 取組の方向性

1. 緑のつながり

生物多様性の豊かなまちづくりの実現に向けて、まちなかに「緑のつながり」を創出し、生態系のネットワーク形成を目指す

2. 人のつながり

緑に関する協働・共創を通して、様々な人と人とのつながりを育み、グリーンコミュニティを形成する

3. みどりを活かしたまちづくり

「緑」と「人」を掛け合わせによる「みどり」を活かし、生活の質や地域価値の向上、地域・環境課題の解決に取り組む

03 取組の推進に向けて

・みどりのマネジメントによる推進、実現に向けた普及啓発や情報発信

・2050年のみどりの将来像を見据え、2040年を目標とする指標の視点

●結論

案のとおり了承。